

## タブレット端末導入にあたっての検討資料

### タブレット端末導入例

- ・ 5,000 円/月×54 台(議員+事務局)×12 ヶ月=3,240,000 円
- ・ Wi-fi 構築費：本会議場、委員会室、会派控室、事務局

### タブレット端末で可能になること

#### ○議員が調査等に使用

- ・ 自宅、会派控室、視察先等、どこでもインターネットで調べることができる
- ・ 市の計画や議員への説明資料等を格納しておくことで、どこでも調べることができる

#### ○議員が市民等への説明に使用

- ・ 市の計画や議員への説明資料等を格納しておくことで、後援会、地元の会議等、どこでも資料を示して説明することができる

#### ○情報伝達の迅速化

- ・ 議員がどこにいても、事務局や理事者の連絡を即時に受け取ることができる
- ・ 災害が起きたとき、どこでも即時に市からの情報を受け取ることができる

#### ○紙及びコピーや印刷代の削減

- ・ 議案、委員会資料、会派総会等の膨大な紙資料をデータにすることで、紙及び印刷代を削減できる
- ・ データは議員が必要に応じて印刷できる
- ・ 印刷や資料送付、差し替え等、職員の業務が削減できる
- ・ データにすることで、これまで白黒であった資料がカラーとなり、わかりやすい資料となる

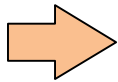
議員に配布した資料等（平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月）  
議案、委員会資料、会派総会資料、議会報編集委員会資料、市政概要、議会概要 計 約 603,000 枚 約 2,200,000 円  
(事務局調べ、1枚あたり白黒 0.78 円、カラー 14.7 円、紙 0.769 円で計算)

タブレットは有料ですが、システムは有料と無料の2種類があります。  
以下は、その導入経費と導入例です。

### 議案、市計画、会派総会資料等の閲覧

#### <有料の電子会議システムを導入した場合の例>

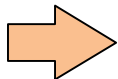
・85,000円/月×12ヶ月=1,020,000円（基本料、ライセンス等）



- ・セキュリティが確保される
- ・説明者と議員が資料を同時に閲覧できる
- ・言葉を入力することで検索できる
- ・手書きでメモを残すことができる

#### <無料のファイル管理アプリを使用した場合の例>

・File Commander、ファイルマネージャー等のアプリを使用

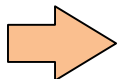


- ・資料を格納、閲覧できる
- ・同時閲覧や検索、メモ機能がない
- ・セキュリティや保存容量は端末に依存する

### 通知等の送付

#### <有料のグループウェアを導入した場合の例>

・9,935円/月×54ユーザー（議員+事務局）=536,490円

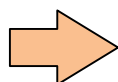


- ・セキュリティが確保される
- ・メールとスケジュールなど様々な機能を同一システムで管理できる
- ・アドレス帳やスケジュールを共有できる
- ・事務局が管理権限を設定できる

#### <無料のメール、カレンダーを使用した場合の例>

・docomo、au、softbankのキャリアメールまたはGmail、Hotmail等のフリーメールを使用

・Googleカレンダー、Yahooかんたんカレンダー等のアプリを使用



- ・メールとカレンダーは別のアプリとなる
- ・事務局が管理できない

有料の導入例を合計した場合  
 <導入コスト>

項目	内訳	計
Wi-fi 構築	議場、委員会室、会派控室、事務局、図書室	数と能力による
電子会議室	初期費用	80,000円
合 計		80,000円+α

<ランニングコスト>

項目	内訳	計
タブレット端末	5,000(データ通信費+端末)×54(議員+事務局)×12ヶ月	3,240,000円
電子会議室	(20,000(基本料)+20,000(ライセンス)+45,000(容量追加))×12ヶ月	1,020,000円
グループウェア	9,935(年額使用料)×54(議員+事務局)	536,490円
合 計		4,796,490円